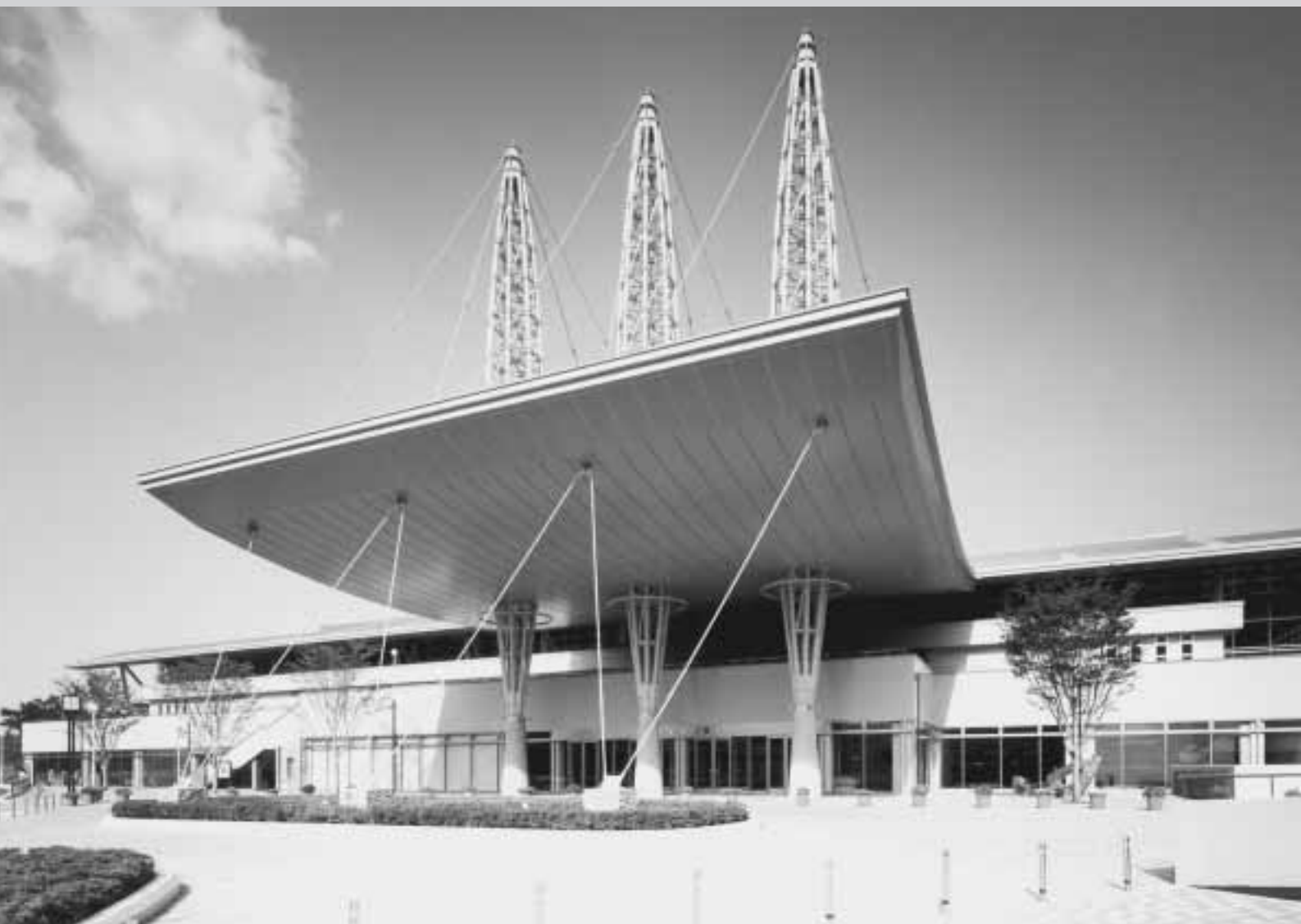


建築士
おおた
新年号



Ⓐ 社団法人 大分県建築士会

2004 NO 89

士 楽 敷

式 会 会

| 本・支部名 | 〒 | 事務局所在地 | TEL |
|-----------|---|-------------------------------|--------------|
| 高 田 | 879-0605 | 豊後高田市大字御玉199 | 0978-24-0418 |
| 国 東 | 873-0503 | 東国東郡国東町安国寺718 | 0978-72-2887 |
| 別 府 | 874-0845 | 別府市大字鶴見字角田3220-3 別府建築士事務所会館 | 0977-67-4488 |
| 本部・大分 | 870-0022 | 大分市大手町2-2-7 田原ビル2F | 097-532-6607 |
| 佐賀関 | 879-2201 | 北海部郡佐賀関町藤生 (株)セキ土建内 | 097-575-1120 |
| 臼 杵 | 875-0082 | 臼杵市稲田中尾下1000-1 (有)みえのブロック内 | 0972-63-6695 |
| 津久見 | 879-2458 | 津久見市入船西町21-1 小代築炉工業株内 | 0972-82-4155 |
| 佐 伯 | 876-0813 | 佐伯市長島町1-3-11 | 0972-23-6099 |
| 三 重 | 879-7131 | 大野郡三重町大字市場2区 | 0974-22-6606 |
| 竹 田 | 878-0026 | 竹田市大字飛田川1618-6 | 0974-62-3711 |
| 玖 珠 | 879-4631 | 玖珠郡九重町大字恵良952-6 和興設計一級建築士事務所内 | 09737-6-2458 |
| 日 田 | 877-0025 | 日田市田島1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内 | 0973-24-5190 |
| 中 津 | 871-0024 | 中津市中央町1-5-24 中津建築会館 | 0979-24-3597 |
| 宇 佐 | 879-0454 | 宇佐市大字法鏡寺290-1 服部第3ビル102号 | 0978-33-3395 |
| 本 部 | http://www.oita-shikai.or.jp/ | | |
| 大 分 支 部 | http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/top/oita.html | | |
| 中 津 支 部 | http://www6.ocn.ne.jp/~ken-kai/sikai/top/index.htm | | |
| 佐 伯 支 部 | http://sikai-saiki.hp.infoseek.co.jp/ | | |
| 臼 杵 支 部 | http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/syokai.htm | | |
| 津 久 見 支 部 | http://www.bungo.or.jp/t-shikai/ | | |
| 別 府 支 部 | http://www.beppu-yukemuri.com | | |

会 員 増 強 に ご 協 力 を !

~ 会 員 二 人 で、一 人 の 入 会 勧 誘 を ~
目 標 3,000 人 突 破



社 団 法 人 大 分 県 建 築 士 会

CONTENTS

| | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. ニュース採録・ニュース再録 | |
| 2. ムーミン谷より 日本のムーミン屋敷 | 大分支部 飯倉 尚之 |
| 4. 特集記事 サマーセミナーinなかつ | 中津支部 |
| 8. 舌検隊 パート 第8回 別府の巻 | 大分支部 宮崎 敏信 |
| 10. 個人的図書紹介 わたしのアラタ・イソザキ Vol. 4 | 白杵支部 虚 無 院 |
| 12. MY WORK | 大分支部 宇佐支部 佐伯支部 大分支部 |
| 14. ㊦第18回豊の国木造建築賞受賞対象作品一覧 | |
| 15. シリーズ 登録文化財No.11 山海荘 | 白杵支部 佐々木仁志 |
| 16. 会員紹介 | 日田支部 |
| 18. インフォメーション | |
| ~ 別府支部 ~ | 河村 建一 |
| ~ 国東支部 ~ | 菊本 軍治 |
| ~ 白杵支部 ~ | 若林 純一 |
| ~ 日田支部 ~ | 吉田 博嗣 |
| ~ 三重支部 ~ | 阿南 英彦 |
| ~ 竹田支部 ~ | 今川 幸一 |
| ~ 宇佐支部 ~ | 加嶋 洋喜 |
| 29. 「情報コーナー」...知っちゃんかえ | |
| 30. 建築士会継続能力開発(CPD)認定プログラム | |
| 31. 事務局だより | 事務局 |
| 34. 平成15年 1級・2級建築士試験合格発表 | 事務局 |
| 35. 編集後記 | |



名称：べっぴアリーナ
発注者：別府市長 浜田 博
設計者：(株)安井建築設計事務所
施工者：大林・さとうベネック
三光建設工事共同企業体
構造：鉄骨造
一部鉄骨鉄筋コンクリート造 3階
用途：体育館

おめでとう～です。
今年も元気でがんばろう!

謹賀新年
最近な情報をお求めています
もよりの編集委員へお伝え
ください。T.K.



新年のこの編集、弊社の
お礼（お礼がたごう）
です

明けましておめでとうございます。
皆様にとりまして今年も
ご健勝を祈ります。佐野

広報委員

| | | | |
|-------|----|----|-----|
| 担当副会長 | 佐伯 | 志賀 | 隆保 |
| 常務理事 | 大分 | 幸孝 | 三博 |
| 委 員 | 大分 | 宮崎 | 和男 |
| " | 竹田 | 川野 | 精一郎 |
| " | 別府 | 原 | 義文 |
| " | 大分 | 牛嶋 | 忠昭 |
| " | 臼杵 | 笠木 | 登喜雄 |
| " | 臼杵 | 板上 | 一則 |
| " | 佐伯 | 井部 | 達巳 |
| " | 三重 | 岡高 | 淳一 |
| " | 日田 | 日本 | 正昭 |
| " | 中津 | 是 | |

編集委員

| | | | |
|---------|----|-----|-----|
| 編 集 委 員 | 高田 | 成重 | 憲一 |
| " | 国東 | 菊本 | 軍治 |
| " | 別府 | 工藤 | 圭介 |
| " | 大分 | 中園 | 幸治 |
| " | 大分 | 佐藤 | 安典 |
| " | 大分 | 坪井 | 敬行 |
| " | 大分 | 飯倉 | 尚之 |
| " | 大分 | 安藤 | 幸子 |
| " | 大分 | 丸茂 | 憲子 |
| " | 佐賀 | 河津 | 幸治 |
| " | 臼杵 | 笠木 | 忠昭 |
| " | 臼杵 | 久野 | 悦子 |
| " | 津見 | 中津留 | 幸正 |
| " | 佐伯 | 安部 | 秀久 |
| " | 佐伯 | 中田 | 智佐美 |
| " | 三重 | 阿南 | 英彦 |
| " | 竹田 | 野村 | 忠 |
| " | 玖珠 | 後藤 | 喜美男 |
| " | 日田 | 武内 | 淳一 |
| " | 中津 | 小野 | みゆき |
| " | 宇佐 | 椋田 | 康一 |

建築士大分

2004.1 No.89

(非売品)

平成15年12月26日 印刷

平成16年 1月 1日 発行

編集 / 発行所
社団法人

大 分 県 建 築 士 会
〒870 - 0022
大分市大手町2丁目2 - 7田原ビル2F
T E L 097 - 532 - 6607
F A X 097 - 532 - 6635

ニュース探録 ニュース再録

旧日出藩歴代藩主の

風待ち茶屋『襟江亭』保存めざし見学会
日出町大神の深江地区に残る旧日出藩歴代藩主が船
出に適した風が吹くまで待つために使った茶屋「襟江
亭(きんこうてい)」の見学会が、2日に行われる。
< 読賣新聞 2003 8 / 1 >

耐震性確認47% 地域で“温度差”

全国の公立小中学校の校舎や体育館13万1482棟の
うち耐震性に問題がないことがはっきりしているのは
半数以下の46.6%にすぎないことが4日、文部省の
4月1日現在の調査で分かった。大分は耐震診断率
19.9%、耐震化率では、58.0%。
< 大分合同新聞 2003 8 / 4 >

震度6以上を1日(7/26)に3回記録

前震 本震 余震。宮城県北部の地震は、従来の
「強い地震の後に弱い地震が続く」という常識を覆す
活動を示した。
< 日経アーキテクチャ 2003 8 / 18 >

戦争遺跡保存策探る きょうから全国シンポ

太平洋戦争中、特攻基地になった「宇佐海軍航空隊」
が置かれた宇佐市で23、24の両日、戦争遺跡の保存
の必要性や平和の尊さについて語り合う公開討論会
「戦争遺跡保存全国シンポジウム」が開かれる。
< 西日本新聞 2003 8 / 23 >

宇佐神宮、国東半島 世界遺産にしよう!

宇佐神宮と国東半島の神仏習合文化をユネスコの世
界遺産にしよう、民間グループ「宇佐神宮・国東半島
を世界遺産にする会」(工藤弘太郎会長)が発足した。
< 読賣新聞 2003 8 / 27 >

磯崎さん設計の岩田学園校舎 新学期“衣替え”

安全に外観変えず耐震補強。美しく 外壁洗浄でピ
カピカ。
< 大分合同新聞 2003 9 / 11 >

玖珠町・豊後森機関庫の

用地、建物、町が買い取りを計画
玖珠町に残る鉄道遺産「豊後森機関庫」について、
町は12日、保存を目的に所有者のJR九州と土地買収
の交渉を進めていることを明らかにした。
< 大分合同新聞 2003 9 / 13 >

宇佐署と建築業界、空き巣防止へ連携

年々増え続ける空き巣被害を未然に防ごうと、宇佐
署は、県建設業協会宇佐支部、建築士会宇佐支部と連
携して「安全・安心マイホーム推進事業」に乗り出した。
< 読賣新聞 2003 9 / 15 >

竹田・塩屋 主屋など3件、登録有形文化財に

19日に開かれた国の文化審議会で、県内からは竹
田市竹田にある江戸時代の商家、塩屋主屋、塩屋中蔵、
塩屋古蔵の3件を新たに登録有形文化財とすることが
答申された。
< 大分合同新聞 2003 9 / 20 >

旧浜田温泉館「保存基準満たず」

評価委員、別府市長に報告
< 朝日新聞 2003 9 / 23 >

芦原義信氏が死去

文化勲章受章者で駒沢オリンピック体育館、ソニー
ビルなどを設計した建築家の芦原義信氏が24日、大
腸ガンのため死去した。85歳だった。
< 日本経済新聞 その他 2003 9 / 25 >

高山総合工業が破産 負債総額30億円

< 大分合同新聞 2003 10 / 7 >

旧浜田温泉取り壊し決定

別府市資料残し将来復元も
< 読賣新聞 その他 2003 10 / 8 >

『塩屋』国の登録文化財に

竹田市で最も古い商家跡「塩屋」(下本町)が国の
登録有形文化財になった。
< 読賣新聞 2003 10 / 10 >

「杵築の30年先の姿は…」街並み活性化で議論

杵築市で9日夜、「杵築の30年先を見据えたまちづ
くりフォーラム」が開催された。
< 朝日新聞 2003 11 / 12 >

ムーミン谷より 日本のムーミン屋敷

大分支部 飯倉 尚之

埼玉県飯能市にある「あけぼの子ども森公園」をご存知でしょうか。

ここには、1998年建設大臣賞を受賞した「ムーミン屋敷」があります。

ムーミン？という方の為に・・・フィンランドの作家トーベ・ヤンソンさんのムーミン童話に出てくる、カバ科？の生物です。

日本でもアニメや本がありますので、ほとんどの方が知っている事と思います。なぜ埼玉にムーミン屋敷か？それはこの公園の理念「自然と共生、自我と自由の尊重」がムーミン童話に通ずるためだそうです。公園名にもあるように週末子ども達が遊べるようにと作られた公園のようです。

そのためか、全ての施設は無料で開放されて、ムーミン屋敷の他にも、図書館、小ホール、アスレチック等も整備されており、1日中遊んでも遊び足りないくらいの充実ぶりです。

大分市にも公園は多々ありますが、このような遊び心を一貫して作られた施設はないので、ぜひそんな施設を作って欲しいものです。

さて、ムーミン屋敷に戻りますが、建物はずんぐりむっくりのキノコ型をしており、童話等に出てくる屋敷に比べると、随分和風になっています。



壁は総しっくい塗の木鏝押え、櫛目引き仕上げで、屋根は珪藻土葺でいい具合に野草が茂っていました。

中に入るとまず丸い暖炉が迎えてくれます。冬場には実際火がくべられ、来訪者を暖かく迎えてくれるそうです。(行ったのが夏なので、火は入っていませんでした。)

1階には台所といこいの広場があり、軸組、天井には地場の檜(とパンフに書いていました。)を使って組まれていて、その軸組に沿うような形でアール・デコ調の鋼製手摺のついた階段が2階へ導いてくれます。

2階、3階には、ムーミン童話に出てくる仲間達の小部屋があり、1人ずつの紹介が添えられていました。

この公園には、ムーミン屋敷だけでなく、小川には水浴び小屋(童話の中ではムーミン・トロールとスナフキンが腰掛けてハーモニカを吹いている所です。)など、ムーミン童話に出てくる風景を確実に再現しています。



との共生とは・・・。

少しでも興味を覚えたなら、「子どもが読むもんだ」なんて思わずに、軽い気持ちで読んでみてはどうでしょう？ 案外はまるかもしれませんよ。

人生を慌しく駆け抜けるのも、楽しいかもしれませんが、たまにはゆるりとした気持ちを味わい、人に優しくしてみるのも、心のリフレッシュになると思います。

ストレスがたまりやすい昨今、自分を見失わないためにも、足を止めて空を見上げる余裕を持っていきたいと思う今日この頃です。

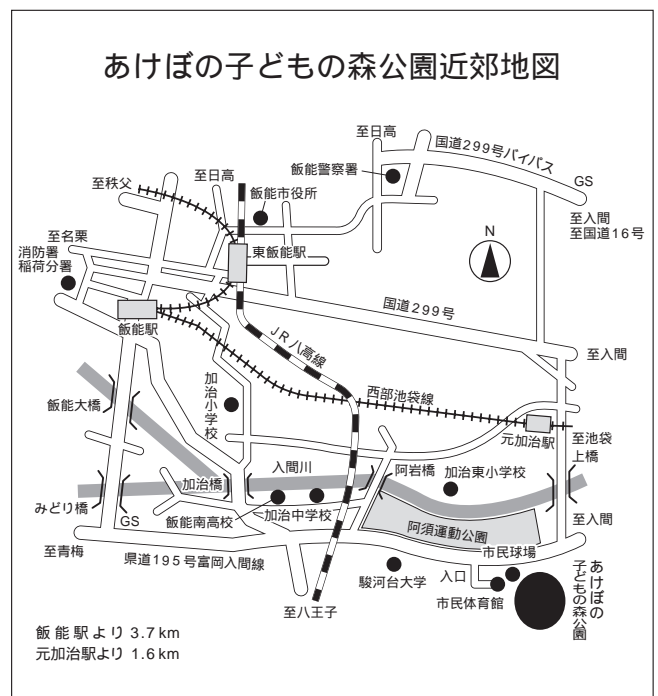


パンフレットに『「危ないからダメで良いのでしょうか？」子ども達が新しい体験や小さな危険に自分の責任で挑戦することの大切は、言葉で教えられるものではなく、環境が教えてくれるのではないのでしょうか。』と、書いてありましたが、その環境の中で、建築物の担う範囲は大きなものだと思います。

建物が環境とマッチしてこそ、街並としての機能や、自然との調和が生まれてくるのではないのでしょうか。

私はまだまだ、気持ちに知識と技術がついていない状況ですが、建築物の可能性と共に自分の可能性を信じて勉強していき、視野の広い考えを培っていったらと思います。

ムーミン童話には、数多く学ばされる事があります。人のやる事に対して、干渉しない事の優しさ、自然



第17回サマーセミナーinなかつ

豊の園 秘(湯/棟)めぐり つかって! つかって!

第17回サマーセミナーが中津市で開催されることとなり、昨年12月に中津支部準備委員会を立ち上げ、セミナーを大成功させる為にも20回以上に及ぶ会議を重ねてきました。



会議風景

緊張と興奮の中、中津オリエンタルホテルを会場とし県内から約130名+中津支部のスタッフ=200人近い参加者となり、「第17回サマーセミナーin中津」の幕が切っておとされました。



CG

開会式では大会関係者の挨拶、鈴木前中津市長の来賓祝辞と続き、県立工科短期大学の鈴木先生が制作された「中世大友館の復元CG上映会」が行われました。

開会式の後、参加者は分科会へと移り

- * さんさくの湯コース
- * そばの湯コース
- * つむぎの湯コース

と、それぞれの出発場所へと移動しました。

さんさくの湯コースは、参加した皆さんに中津市の良さを知ってもらう為、中津の名所を散策してもらおうという企画で、ボランティアで参加していただいた郷土史を語る会の荒川さん、石部さんに市内観光各所を説明して頂きました。



筑紫亭

筑紫亭にて女将さんに説明していただきました。

散策風景



日ごろあまり歩かないので、いい運動になったのでは……

赤壁の合元寺

資料片手に熱心に見学。



集合写真

そばの湯コースは、風の丘葬祭場見学後、参加者にはコース内容を知らせず、ミステリーツアー状態で移動し、そば打ち体験班・西谷温泉入浴班とに別れ、耶馬トピアでそば打ち班がバスを降りる際、急遽コース変更者が出て、おかげでそば打ち体験は満員御礼となりました。



テレビにもよく出ている支配人。施設の紹介とそば打ちの説明をしてもらいました。



ほとんどの人がそば打ち初体験。慣れない手つきでこねて伸ばして・・・わきあいあいと楽しい作業でした。



自分で打ったそばは最高にうまい！！ひと仕事終えた皆さん、ビールを飲みながら満足の笑み。

そば打ち体験者を降ろした後、西谷温泉へと・・・



女性参加者がそば打ち体験で降りてしまい残念でしたが、温泉の泉質はぬるぬるして気持ちよく、風呂上りのビールは最高でした。

他にもログハウスの宿泊施設や研修施設、ローラー滑り台などもあります。



宿泊施設

施設について詳しく知りたい方は・・・
本耶馬溪町のホームページへ
<http://www.honyabakei.com/>

つむぎの湯コースは、風の丘葬祭場見学後、金色温泉入浴体験班・やまかつむぎ体験班に別れ、一路三光村へとバスを走らせました。



風の丘

八面山の中腹に金色温泉があり、入浴班は下車しました。まず、大友社長の挨拶と施設説明のあと、参加者は入浴体験へと・・・



夜の金色温泉の全景



織り機に向かい実演をする松田さん



皆さん日ごろの疲れを癒してました。

金色温泉で入浴班を降ろした後、一行は八面山荘へ。



ハングライダーをイメージして設計されたそうです。

八面山荘では、御歳74歳、松田和子氏による「やま紬実演講習会」が行われました。松田おばあちゃんは、明治時代から地元で伝わる「やま紬」の唯一の伝承者。新聞やテレビ出演は数知れずの有名なおばあちゃん。



方言でお話をされる松田さん



機械体験

ぎこちないない手つきで、松田おばあちゃんに指導をうけながら機織を体験。



松田さんの作品の数々

もっと詳しく知りたい方は・・・
三光村ホームページ
<http://www.vill.sanko.oita.jp/>
金色温泉ホームページ
<http://www.kanairo.co.jp/>
松田和子さんのドキュメント
http://www.fujitv.co.jp/b_hp/fnsaward/backnumber/back/00-286.html

分科会終了後、閉会式が行われ、各分科会報告が行われました。

閉会式の後、引き続き懇親会が行われ、井上事務所協会中津支部の乾杯の音頭で始まりました。



食事風景

おなかをすかせた参加者。次のアトラクションに参加するためエネルギー補給。



ほろ酔い気分でハイチーズ。

お楽しみアトラクションとして、支部対抗万歩計ゲームが行われました。

ゲーム



万歩計で勝ち残った4支部で、しり文字あてゲーム決勝戦が行われ、みごと優勝に輝いたのは・・・高田支部の後藤さん。

ユーモア賞は、宇佐支部の加藤さんでした。

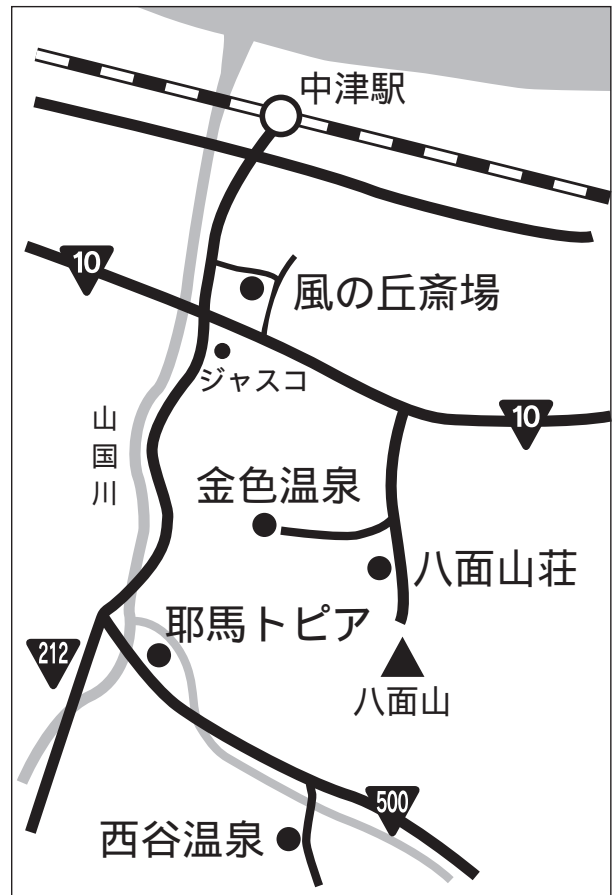
最後に青年部会長、九州ブロック青年部会長、佐賀関支部の渡辺さんの挨拶で懇親会が終了しました。

引き続き、夜なべ談義が行われましたが、多くの人は懇親部会が作成したナイトマップを片手に夜の街へと出かけていきました。



一夜限りのナイトマップ

* 詳しくは見せられません(>_<)



県立工科短期大学の生徒さんの感想

先日開催された建築士会のサマーセミナーに参加させていただきました。初め、建築士会のサマーセミナーと聞いた時は固いイメージがあったのですが、当日の会場の雰囲気はそうではなく、皆さんが気楽に話しながら楽しそうな表情をされていたので、最初に自分の中にあったイメージと違って、僕も楽しめました。また、うちの科の鈴木先生が製作した大友館の復元CGも上映されて、何度かDVDで見ていたものをスクリーンで観れたので少し見方が違って良い体験でした。また、来年も参加させていただきます。

住居環境科 1年 岩永 一郎

今回のセミナーでは様々なドラマが生まれたかと思えます。私にとっては初めてのサマーセミナーだったので、大変勉強になりました。

ご協力をいただきました各支部の皆さん、そして中津支部の役員の皆さん、お疲れさまでした。「サマーセミナーin中津」は大成功でした。心を込めて御礼を申し上げます。

もっと詳しく見たい方は・・・
建築士会中津支部ホームページへアクセスを・・・
<http://www6.ocn.ne.jp/~ken-kai/>

舌検隊Ⅲ

第8回

別府の巻

大支部 宮崎 敏信

秋も深まりお酒の美味しい季節となった。今回は、別府土木事務所勤務なので身近な居酒屋とした。

例のごとく、“美味しく飲む為に”に走っているが、今回も別府公園で軽くジョギングをして、宿泊するホテルの温泉で汗を流し、サッパリして会場へ向かう。喉が渴くがビールを美味しく飲むために我慢する。ホテルより歩いて10分程だ。夕暮れが迫り、「今夜はどんな料理が出るか?」と期待を抱いて急足を運ぶ。



会場はホテル「はまゆう」内の『花翔』(かしょう)である。引き戸を開けると、4人が座れる小上がりと5~6人掛けのカウンターが目に入る。

小生は、7~8人用の部屋に案内される。床が“掘りごたつ風”に切り下げられ座り心地がいい。メンバー3人も予約時間通りに揃い、早速生ビールで乾杯する。高校時代からの友人(同級生)で気楽に飲めるのがいい。



先ず、先付の蛸の塩辛・海老の甘露煮・卵焼きを頂く。特に蛸の塩辛が何とも言えず美味しかった。日本酒向きだろう。お造りに“めんぼう”の刺し身が出る。マスターがその日の市場で一番いい食材を調達するそう。甘みがありさすがに美味しい。味はかわいいの刺し身みたいである。刺し身にはビールが合わず、早々と芋焼酎に切り替える。友人キープの幻の焼酎“魔王”のお湯割りとする。さらに、鯛とサザエの刺し身が出る。新鮮そのものでコリコリと歯ざわりがよい。



焼き物に鯛の塩焼きが出る。身が引き締まりこれも美味しい。続いて、小鯛の天麩羅となる。天麩羅は熱々が一番だ。フーフー言いながら塩味で頂く。文句なしに旨い。焼酎もはかどり、いい気分になる。魔王を1本開けてしまい、“耶馬美人”となる。煮物は“鯛頭のあら炊き”だった。身がたくさん付いておりほくほく頂く。

友人と、来年2月金沢市で予定されている“同窓会の打ち合わせ”をやるはずだったが、美味しい料理と旨い焼酎、それに楽しい語らいに、酔ってしまい中途半端になってしまった。

最後に、ご飯として、“松茸の釜飯”が出る。満腹に近かったが、美味しくて釜飯も平ら上げてしまう。果物(梨・ブドウ)が出て、コースが終了だ。イイ気分、女将さん推奨のスナック1軒のみ“荒らし”帰館する。

この駄文を書いている間も、美味しさと楽しさを思い出してもう一度味合ってみたくなった。値段もリーズナブルで安心して飲める。



別府駅から歩いて5～6分なので、気軽に立ち寄り、飲んでもJRで帰れるのでOKだ。また、泊まろうと思えば、ホテル『はまゆう』内にこの店があるので便利である。また、「建築士おおいた」で見た。と言ってもらえば、極上?のサービスが受けられるはずだ。



毎度のことだが、建築士会よりの援助を一切受けておらず、友人達とも、すべて割り勘でやっていますので申し添えます。

ホテル はまゆう

大分県別府市北浜3丁目3-10

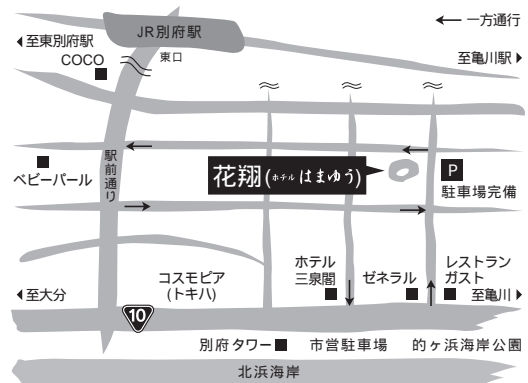
tel.0977-23-3939(代) fax.0977-23-3494

E-mail: hamayu@ctb.ne.jp

http://www.babyppearl.co.jp/hamayu/

【交通アクセス】

大分空港より当ホテルまで車で40分
JR別府駅東口より徒歩5分



別府タワー ■ 市営駐車場 的ヶ浜海岸公園
北浜海岸

姉妹店ベビーパール / 別府市北浜1丁目4-9-1F tel.0977-23-1005

(次回は佐賀県を予定しています。)



個人的図書紹介

わたしのアラタ・イソザキ
vol.4

臼杵支部 虚無院

今はなき建物が、建築の案内書に紹介されているというような例はあるでしょうか。書物が発行されてから後に壊された例は、幾らでもあると思われます。しかし、その逆の場合はどうでしょう。通常はあり得ないと考えられますが、実はあるのです。

その建物は、かつて別府の浜脇にあった浜脇温泉・浜脇高等温泉（1930～1988）であります。私は、この建物が壊される場面にも部分的に立ち会いました。解体されるという建物の写真を新聞で初めて見て、すぐに実物を確認に行ったのです。スクラッチタイルの外装とうねりのある特殊な壁面。それに、西側のアーチ状の玄関を持った浜脇温泉と、東側の扇形の分厚い底が少しいかめしかった高等温泉の、それぞれ入り口の異なった非常に珍しいプラン。私は一目見て素敵な、なんてイカシタ奴だろうと思ったものです。直ぐに家族連れで温泉に入りに来ました。また、この建物の写生大会を子供と二人で催したりもしました。今でも何故このような素晴らしい建物を壊したのか私には理解できません。

浜脇は、この温泉建築を中心に町が形づくられていたと記憶しています。周囲の建物はかなり老朽化していましたが、菱形の木縁に入った色ガラスのドアや窓など、とてもハイカラな、そして懐かしい建物群でした。別府が輝いていた頃の証の一つです。素晴らしい建物というものは、創ろうと思ってもそう簡単にできるものではありません。だからこそ、これと思われる建物は残すべきなのです。そういうものがない町は歴史を感じさせない薄っぺらな印象しか与えません。歴史のない町ならそれでも構いませんが、別府のように素晴らしい歴史のある町ならそれは必要不可欠です。そこに住んでる方々も自らが帰属する、手に触れることのできる自分達の文化を無くすことになるのです。その意志さえあれば、古い鉄筋コンクリートの建物を耐震補強することなど、今の技術では難しい事ではありません。

さて、前述の案内書とは『近代建築再見 下巻』（山口廣+日大山口研究室=文 宮本和義=写真（株）エクスナレッジ 2002年6月10日発行）であります。



「浜脇は場末になってしまった。家々は手入れが届かず痛みが目につく。しかし、狭く入り組んだ道を歩いてみると思いがけず奥の深い三階建の大きい家や棟飾りの立派な家が目につく。昔の賑やかさがしのばれ胸が痛い。（略）」

オランダ風呂場の（略）写真を見たときから、モダンな建築だと思っていた。しかし、現地で周囲をゆっくり歩きながら眺めて『おやっ』と思った。北側一、二階間の壁にゆるく長い三角形の突起がある。南側ペントハウスの窓下には短く強い三角形の突起がある。窓の上下の強い線上の蛇腹（コーニス）が、壁の凹凸で強調される垂直線と巧みに調和している。壁隅のカーブや丸窓が、四角い箱に四角い窓だけの近代建築の単調さを救っている。並の建築家のデザインではない。

市役所で頂いた資料に、竣工式の折の工事報告書が載せられていた。それに、『別府市技手 池田三比古、専ら其任に当り逡信省技師 吉田鉄郎氏の意見を徴し、其の様式は近世和蘭式に則り、・・・』とある。ああそうかと思った。吉田鉄郎は、同じ年に本務の別府電話局と市依頼の別府市公会堂を完成している。彼がドイツをはじめ北欧建築をこよなく愛し知識豊かであったのは良く知られている。オランダのアムステルダム派の建築を手本としたのだ。中でも、M・デ・クレルクのポート・クラブの建物が似ている。吉田のことであるからドイツの建築雑誌を東京からわざわざ抱えてきて、アムステルダム派の建築のなかでも天才デ・クレルクの作品を池田に熱心に説明したのであろう。（略）」

それでは、別府市技手の池田三比古とはどういう人物なのか、『地霊ゲニウスロキ 別府近代建築史』（別府市観光産業研究会 1993年12月1日初版発行）に村松幸彦先生が紹介されている箇所を引用します。



「三比古（1893～1979）は士族出身の医師である父衛藤敦夫の六男二女の三男坊として生まれた。

父敦夫は日露戦没後軍神として祀られた広瀬武夫中佐の叔父に当たり、田舎医師で終わったが、東京帝国大学の医科を卒業している。

三比古の生家は竹田市の寺町通りの角にあり、藩の御客座敷と呼ばれていたが、現在公有化され、修理復元をして再利用されている。父は広瀬家の子供たちがりっぱな海軍士官になったので三比古を将校にと願っていたが、三比古がその後胸を患ったため受験を断念した。

病中の三比古の養生法は独特のもので、屋敷裏の『愛染堂』の裏山の竹藪に小鳥のワナを仕掛け、それを毎朝見てまわるのが日課であった。ひとまわりすると家に帰り、生卵をひとつとお酒をコップいっぱい飲む。十五で飲み始めた酒は彼にとってはまさに百薬の長で、ありがたく味わいながら、建築美創造を夢みる人生がはじまったのである。

中学卒業後、上京して苦学をしながら蔵前高等工業高校の建築選科に入学した。

その間、海軍省、逓信省、渡辺仁建築事務所と勤め先を変ったが、逓信省営繕課の技師吉田鉄郎との出会いは渡辺仁設計の『山崎商店』の現場主任をしていたときのことである。（略）彼が養家の親の訃報に接し、やむを得ず帰別し、町役場の営繕係技師として勤めだしたのは大正十一年（1922）のことである。（略）」

そして今、存亡の危機に立たされている浜田温泉（1937年）も彼の手によります。「亀川駅東側の旧街道沿いにあった『浜田鉱泉』を改築した市営温泉。当時の西日本では珍しい正面入口に唐破風の屋根を構える宮造りで、2階には公民館が設けられており、地域コミュニティ形成の拠点となっている」（『九州・沖縄を歩こう！ 建築グルメマップ2 [九州・沖縄編]』（株）エクスナレッジ 2002年6月10日 第1刷発行）



そして、竹瓦温泉（1938年）「元町にある竹瓦温泉は、繁華街の真ん中にあり、初めて訪れる人はその堂々とした重厚な建物に驚くだろう。入口の屋根は唐破風造りで、1941年に改築されたもの。二階は公民館になっており、地域の人たちに親しまれている。

かつてこの辺りも砂地だった明治前期頃、掘り出した所に湧いたお湯の周りに、木の枠を組んだり石で築いたりした上に青竹の屋根だけに乗せて、いつの間にか近所の人たちが入浴するようになった。そのとき『竹の屋根をふいた温泉ができた』ということで『竹瓦温泉』と呼ばれるようになったという。』（『大分・別府 湯布院を歩く』著者 高見乾司 他 海鳥社 1998年6月5日発行）



別府市は、この建物の設計者を別府市建築課技師 村上利作の作品としていますが、『別府・建築ウォッチング』という冊子では、村上利作に並んで、括弧付きで池田三比古の名が設計者としてあがっています。竹瓦温泉の場合は、設計チーフは村上で、池田の手も幾らか入っているということなのではないでしょうか。不明です。

いずれにしても、地元の間人が設計をし、建築された素晴らしい建物を消し去っていくという事は、寂しいことであり、愚かな行為と言えないでしょうか。

MY WORK

建物名称 極楽寺鐘樓門
建物場所 大分市須賀1-11-36
建築主 宗教法人極楽寺
設計者 株式会社 大分住宅研究室
施工者 株式会社 幸建設
構造 木造(一部RC造)
規模 12.52㎡(回廊床面積)
用途 鐘樓門

大分にある臨済宗妙心寺派「潮音山極楽寺」は、御住職の希望により、鐘樓門を竜宮造りの形式とした。禅宗様を取り入れ、軒廻りを真反り二重扇タルキとし、反りも一般よりも若干強くして、美しく見えるようにした。
 施工上の苦勞は、化粧タルキの全てを一本ずつ原寸書きし、加工したことである。その苦勞も報われ、タルキ間が均等に割れ、軒反りに合った美しい屋根が施工された。



建物名称 長洲上町の家
建物場所 宇佐市大字長洲465番地
建築主 椋田美穂子
設計者 (有)椋田建設一級建築士事務所
施工者 (有)椋田建設 (代)椋田康一
構造 木造一部鉄筋コンクリート造3階建
用途 一戸建専用住宅
竣工 平成14年8月23日
建築面積 138.22㎡
延床面積 306.89㎡

より中庭に続く居間を見下ろすことが出来、家族の気配が感じられる配置となっている。



設計趣旨

限られた敷地を有効活用する為1階をRC造打放しの仕上げで、全て駐車場とし、2,3階部分を木造専用住宅としている。2階は中庭のウッドデッキテラスを中心に居間、和室、水廻りを配置させ、何処からでも中庭が連続して使える平面設計とされている。
 3階は、寝室と子供室



MY WORK

建物名称 松嶋邸
建物場所 大分県佐伯市
建築主 松嶋 義一
設計者 一級建築士事務所 アトリエ140
石丸 篤
施工者 (株)石丸建材社
構造・面積 R C造一部木造 289㎡
用途 専用住宅



設計趣旨

壁構造RC壁と木造登梁の混構造住宅。
小屋裏空間の大きさと庇の出により、古い在来住宅の夏期の涼しさを、RC造の気密性と蓄熱力により、冬期の現代的な暖かさを実現した。

北西側のRC壁は、過度の蓄熱を防ぐため、外部側に断熱層と通気層を設けた外断熱仕上げであり、意匠的な仕上げは近隣に多い杉下見板張りを採用した。

平面、動線計画は、車椅子使用前提のバリアフリー仕様とした。介護負担を軽減するため、老人室のベッドから、トイレ、浴室まで一直線のリフトも設置可能である。



建物名称 南原クリニック
建物場所 大分市新春日2-4-3
設計者 (株)さとうベネック
施工者 (株)さとうベネック
構造 鉄骨造(2階建)
規模 352.5㎡
用途 診療所

大分西高(旧大分女子高)横の三角形のけして広くない敷地でしたが、外部・内部とも十分ゆとりを感じることの出来る建物になったと思う。

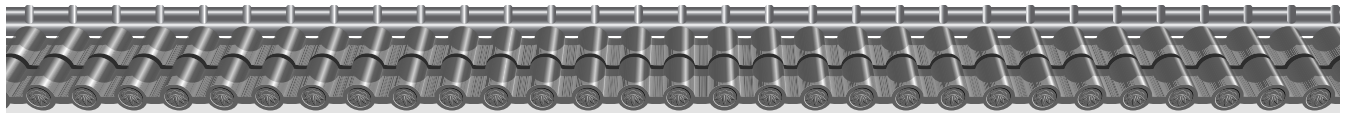
また、今までの病院とは違った優しく、暖かいイメージにしたいという南原院長の思いを建物に反映するようデザインや色使いに心がけた。





第18回豊の国木造建築賞受賞対象作品一覧

| 賞 | 建築主 | 建物所在地 | 用途 | 設計者 | 施工者 | 備考 |
|-----------------------------|---|---------------|------|---|--|---|
| 優秀賞 | 稲葉 安秀 | 白杵市 | 住宅 | ㈱石川淳朗建築設計事務所 石川淳朗 兵庫県芦屋市大原町 11-24-219 TEL.0797-31-8601 | ㈹足立建築事務所 代表取締役 足立信治 白杵市江無田 239-3 TEL.0972-63-3759 | |
| | 藤川 勝也 | 大分市 | 住宅 | 川野雄二住宅設計室 川野雄二 大分市上野丘西 23-14 TEL.097-546-6594 | 三重野工務店 代表者 三重野明良 大分市松が丘 1-9 TEL.097-542-2032 | |
| | 片岡 健二 | 白杵市 | 住宅 | 現代建設㈱ 板井登喜雄 白杵市大字市浜字京泊り 704 番地の 4 TEL.0972-62-3363 | 現代建設㈱ 代表取締役 佐藤義治 白杵市大字市浜字京泊り 704 番地の 4 TEL.0972-62-3363 | |
| 特別賞 (住宅金融公庫 南九州支店) | 梶田 康一 美穂子 | 宇佐市 | 住宅 | ㈹梶田建設 一級建築士事務所 梶田康一 宇佐市大字長洲 486 TEL.0978-38-0083 | ㈹梶田建設 代表取締役 梶田康一 宇佐市大字長洲 486 TEL.0978-38-0083 | |
| 協賛賞 | 四ノ宮 一 (大分県建設業協会) | 大分市 | 住宅 | アトリエ・ラッツ 代表 古後信二 大分市上宗方 1992-1 TEL.097-542-7430 | 首藤工務店(有) 専務 首藤陽蔵 大野郡三重町大字内田 3588-1 TEL.0974-22-3323 | シンプル デザイン賞 |
| | 安部 正也 (大分県建築士会) | 挾間町 | 住宅 | 林住研株式会社 谷原 茂 大分市中央町 4 丁目 2 番 16 号 TEL.097-537-1666 | 林住研株式会社 代表取締役社長 高野國臣 大分市中央町 4 丁目 2 番 16 号 TEL.097-537-1666 | 緑化推進賞 |
| | 伊藤 威之 (大分県木造住宅事業協会) | 大分市 | 住宅 | 戸田建設株式会社 九州支店 一級建築士事務所 代表 徳田和雄 福岡市中央区白金 2-13-12 TEL.092-525-0359 | 戸田建設株式会社 九州支店 取締役九州支店長 中原 卓 福岡市中央区白金 2-13-12 TEL.092-525-0350 | 企画 デザイン賞 |
| | 立川 文雄 (大分県木材協同組合連合会) | 湯布院町 | 住宅 | 川野雄二住宅設計室 川野雄二 大分市上野丘西 23-14 TEL.097-546-6594 | ㈱後藤組 代表取締役社長 後藤 誠 大分市王子北町 3 番 47 号 TEL.097-532-7171 | 県産材活用賞 |
| | 三戸 克彦 (大分県森林組合連合会) | 大分市 | 住宅 | 本建設株式会社一級建築士事務所 代表取締役社長 本幸男 大分市萩原 2 丁目 13 番 38 号 TEL.097-552-1585 | 本建設株式会社 代表取締役社長 本幸男 大分市萩原 2 丁目 13 番 38 号 TEL.097-552-1585 | 自然環境賞 |
| | 中津江村長 坂本 休 (大分県地域づくり機構) | 中津江村 | 住宅 | アトリエフォリウム一級建築士事務所 米田正彦 東京都台東区谷中 3-24-2-304 TEL.03-5814-8721 ハラダデザインアトリエ(代)原田智章 東京都小金井市本町 5-27-5 TEL.042-388-6686 | 蜂の巣 ログハウジング(株) (代)川野加容子 中津江村大字栃野 5165 TEL.0973-54-3151 | ユニーク 構造賞 |
| | 高瀬 雅信 尚子 (大分県建設合同労働組合) | 日田市 | 住宅 | 楽文設計 原田裕文 日田市秋山町 724-16 TEL.0973-23-9235 | 株式会社 中野組 日田市下井手町 90 番地の 1 TEL.0973-23-6135 | 自然素材賞 |
| | 工藤 哲二 工藤久美子 (大分県職業能力開発協会) | 三重町 | 住宅 | 弘中建築設計事務所 弘中康久 福岡県筑後市山ノ井 208-16 TEL.0942-53-7119 | 株式会社星野民藝 代表取締役 竹内主直 福岡県八女郡星野村 11662-11 TEL.0943-52-2720 | バリアフリー賞 |
| | 河野 建夫 (大分県建設組合連合会) | 日出町 | 住宅 | ㈹浅野建設 一級建築士事務所 浅野健治 日出町大字藤原 1727 TEL.0977-72-5960 | ㈹浅野建設 浅野松治郎 日出町大字藤原 1727 TEL.0977-72-5960 | 健康住宅賞 |
| | 緑ヶ丘幼稚園 河野 通介 (大分県建築士事務所協会) | 日田市 | 幼稚園 | テクノクラフト 東京都大田区仲六郷 1-14-5-202 TEL.03-3739-6783 | 株式会社今井工務店 日田市大字西有田 2892 TEL.0973-24-6565 | 子育て支援賞 |
| | 司法書士 梶原 毅 土地家屋調査士 佐久間 博文 ㈹ランドマップ 代表取締役 長尾 隆 (大分県木材商業協同組合) | 日田市 | 事務所 | 企画・・・OFFICE SAKUMA 代表 佐久間博文 日田市田島 2 丁目 11-31 TEL.0973-24-6823 設計・・・(有)梶原住建 代表取締役 梶原祐二 前津江村大字赤石 3268 | ㈹梶原住建 代表取締役 梶原祐二 前津江村大字赤石 3268 TEL.0973-53-2218 | ローコスト賞 |
| | 奨励賞 | 中津江村長 坂本 休 | 中津江村 | 住宅 | デザイン・・・ウィリアム・ブロー 鹿児島県熊毛郡屋久町小島 TEL.09974-7-3206 建築・・・(有)足立建築事務所 代表取締役 足立信治 白杵市大字江無田 239-3 TEL.0972-63-3759 | 蜂の巣 ログハウジング(株) (代)川野加容子 中津江村大字栃野 5165 TEL.0973-54-3151 |
| 松嶋 義一 | | 佐伯市 | 住宅 | 一級建築士事務所アトリエ 140 佐伯市向島 2 丁目 17-3 石丸ビル 1F TEL.0972-23-6855 | ㈱石丸建材社 佐伯市向島 1 丁目 9-27 TEL.0972-22-2543 | |
| ㈱エフ・ワイ・シー 代表取締役 前田 眞実 | | 大分市 | 美容室 | ETO 空間アトリエ 一級建築士事務所 衛藤三志 別府市天満町 8-15 TEL.0977-21-3616 | ㈱竹内工務店 代表取締役 篠田正治 大分市舞鶴町 1 丁目 12-19 TEL.097-536-2323 | |



シリーズ 登録文化財 No.11

「山海荘」

名称：山海荘・主屋 / 離れ
 所在地：白杵市大字白杵70 14
 所有者：フンドーキン醤油株式会社
 建築年代：明治後期（移築 / 増築）
 登録：平成9年7月30日 No.44 0010号（主屋）
 平成9年7月30日 No.44 0011号（離れ）
 設計者：不詳
 施工者：不詳
 構造：瓦葺 木造平屋建
 規模：床面積・173.3㎡（主屋） / 62.2㎡（離れ）



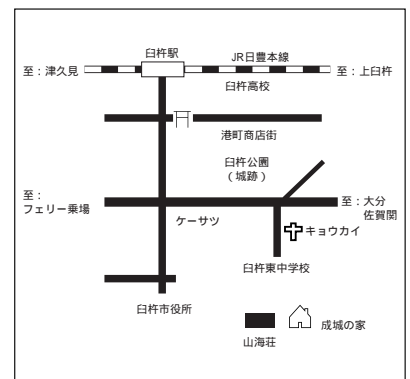
山海荘主屋は、かつて白杵城内にあった二の丸御殿の一部であると言われており、明治の終り頃、時の大蔵大臣である白杵出身の山本達雄が現在の地に移築再建したものである。また、移築に際して離れ屋を増築しており、材料や職人を京都から呼び寄せて本格的な数奇屋の邸を造らせている。白杵川河口の海に面した景勝の地に広々と芝生を敷き詰め、江戸期の御殿造りと近代の数奇屋造りを配した屋敷構えは白杵を代表的する建物のひとつである。



山本 達雄

安政3年（1856）現在の白杵市海添に生まれる。28歳の時、三菱汽船会社に入社し、横浜支店や東京支店の副支配人をつとめた後、日本銀行に入り、第5代総裁を経て48歳で貴族院議員となる。第二次西園寺内閣で大蔵大臣に任命され、経済界出身第一号の大蔵大臣となる。後、農商務大臣、内務大臣を務め、大正9年、男爵を授けられ、昭和10年には宮中杖を許され、最終的には正二位と言う高位まで授けられている。1948年逝去。享年92歳

案内図



宮中杖 キュウチュウジョウ

鳩杖（はとのつえ）の名称。

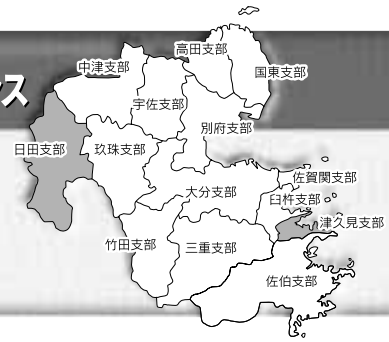
鳩は食する時むせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖のにぎりの部分に鳩の形をつけたもの。80歳以上の功臣に宮中から下贈された。

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



生年月日 昭和52年9月1日

勤務先 (株)今井工務店

趣味 琴、映画鑑賞

将来の夢、モットー等

モットー：温故知新

既存の建物と共にある思い出を引継ぎ、かつ、その空間を現在のライフスタイルや時代に調和出来るよう、これからも古き物を大切にしながら新しい建物の中に取り入れていきたいです。



今井 絢子 (日田支部)

生年月日 昭和52年4月2日

勤務先 野木建設(株)

趣味 映画鑑賞

将来の夢、モットー等

何事にも柔軟性をもって、固定概念にとらわれない建築士になりたいです。

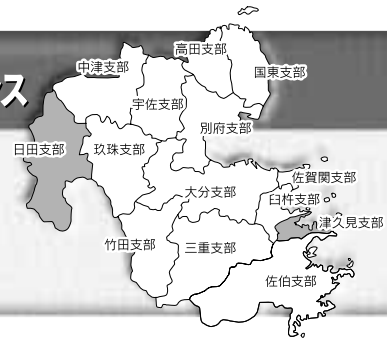


澤熊 祐子 (日田支部)

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介



(掲載については順不同です)

生年月日 昭和52年10月28日

勤務先 (株)イーエイチ設計

趣味 ゴルフ、買物

将来の夢、モットー等

現在、住宅設計を主にしていますが、ここ数年、自然素材を使用するというお客様の要望が多く見られます。

日田は木材の産地として知られている事もあり、「木」本来の心地良さ、地元の素材で安心感を多くの人に伝えられるよう提案していきます。

これからは、インテリアデザインの分野でも活動できたらいいなと思います。

多くのことを学んでいくためにも色々な地域の建築物を見たり、人との出会いを大切に、いつの日か自分のアトリエを持てたらな・・・と夢みてます。



矢羽田 智栄 (日田支部)

生年月日 昭和55年5月24日

勤務先 宇野建築事務所

趣味 ショッピング、旅行、映画鑑賞

将来の夢、モットー等

私は建築分野に中学以来興味が強く、建築士になるのが夢でした。1日でも早く空間形成のプロとして認められるようになりたいので、その為の努力は惜しまないつもりです。

常に「将来の目標を達成するためには、今なにをすべきか。」を意識して、職務に努めてきました。勤務時間だけでなく、毎日の生活の中でも、様々な設計のエッセンスや解決法を見出そうと心がけています。



後藤 ふみ (日田支部)

インフォメーション

INFORMATION

別府支部



別府八湯トラスト —別府八湯の宝を守り育てる会—

代表理事 河村 建一

平成13年10月、九州で初めてのナショナル・トラスト全国大会が臼杵市で開かれ、別府からは分科会で、生活温泉文化遺産としての「竹瓦かいわい路地裏散歩」と名建築めぐりの「山の手レトロ散策」について発表した。その全大会では仮称として、「別府八湯トラスト」へと進化しつつある想いについて、自立する地域活動の現状報告をさせてもらった。「湯けむりの見える自然景観と別府八湯に息づく生活温泉文化」これはまさに二十一世紀における「別府の役割」を考えると、別府の住環境・観光インフラそのものである。



路地裏散歩（竹瓦温泉前にて）



「21世紀に残したい日本の風景」(NHK)

全国第2位 別府の湯けむり

平成14年9月の設立準備委員会によるシンポジウムでは、牧野 光朗氏（日本政策投資銀行大分事務所長）の基調講演は「トラスト成功の鍵は、行政と市民

の連携プレーにあり」がテーマだった。このたび新しく選ばれた浜田別府市長は、「別府再生は、このような伝統的文化や生活を生かしながら創造する『まちづくり』でなければならないと考えます。従って『別府八湯を生かしたまちづくり』が今後の別府再生の核になるものと考えます。また『まちづくり』は、地域住民、一人ひとりが取り組むことで生きがいと誇りを持つことが必要と考えます。」と語っている。



シンポジウムより（左より2番目：浜田別府市長）

別府は「^{あかがねごてん}赤銅御殿」をはじめ、「浜脇高等温泉」など、生活温泉文化から生れた思い出や物語を名建築と共に失ってきた。その流れを変えなければ、二十一世紀の別府再生はありえないと私たちは思っている。そして去る15年6月私たちは、設立記念シンポジウム「トラスト運動による別府八湯のまちづくり」を開催し、基調講演は浦 達雄氏（大阪明浄大学観光学部教授）の別府八湯の宝：「まちづかい」による「まちづくり」というテーマだった。



別府に残したい建物展より

市民自ら基金を積み立て、別府の宝を守り育てる運動「別府八湯トラスト」への盛り上がりと入会を呼びかけた。浜田別府市長もパネラーとして参加し、「今後は市民と行政と『協働のまちづくり』を実現したい。まちの使い手である住民に参加してもらい、別府を『癒しのまち』として再生したい。」と語り、今後はパートナーシップで対話のできる関係をお互いに維持

し、私たちは早急にNPOを立ち上げ、住民サイドで自立して、しっかりした活動をみんなで力を合わせ、進めたいと考えている。

別府再生へのコンセプトは、世界に通用する「交流型保養地」として、住民にとっても保養客にとってもすばらしい個性豊かな地域でなければならない。そのキーワードは、動員型住民参加から自主的な交流型住民参加への転換をすすめなければならない。

客引観光からリピーター観光へ。住民による「別府八湯ウォーク」と「別府八湯トラスト」の連動による、自立した感動と情熱の「まちおこし」をすすめなければならない。竹瓦温泉、浜田温泉、元別府市公会堂などの生活温泉文化遺産の保存活用。そして出来るだけ早い時期に、「自然景観保全」に関することや「生活温泉文化保全基金条例」の制定も市に呼びかけていきたいと思っている。



流しの八ちゃん・文ちゃんによる夜の路地裏散歩



路地裏食堂にて（路地裏文化祭の期間中のみ）

別府八湯トラスト

別府八湯の宝を守り育てる会

活動のご紹介

別府八湯の自然環境・景観・歴史的建造物・町並みそして温泉のある暮らしの文化。わたしたちは、これら有形無形の「別府八湯の宝」を守り、そして育てていきたいと考え、平成14年の秋に「別府八湯トラスト」を設立しました。

美しい故郷であって欲しい、子供達に先人の努力の跡を伝えたい、訪れる人に胸を張って自分のまちを紹介したい...

わたしたちは、様々な人の想いを積み重ねながら、次のような活動を行います。

歴史的な建造物や温泉文化遺産などを保存するための基金の運営

自然環境や景観を守るための基金の運営

歴史的な建造物や温泉文化遺産などの活用を図る事業

町並みや生活の文化を守り育てるための各種事業

まち歩きや出版などの情報発信による啓蒙活動

入会について

正会員 年間 3,000円(1口但し、何口でも可)

永久正会員 10年以上前払いして頂いた方

学生会員 年間 1,000円

賛助会員 年間 5,000円(1口但し、何口でも可)

法人会員 年間10,000円(1口但し、何口でも可)

お問い合わせ先：別府市末広町2-5

河村方「別府八湯トラスト」

TEL/FAX 0977-25-5520

別府八湯トラストホームページ

<http://homepage3.nifty.com/hatto-kk/trust/>

トラスト運動とは...

募金などによる土地や建造物の買取り、または自治体への買取り請求、あるいは所有者からの遺贈・寄贈を受ける、契約を結ぶことにより、その土地や建造物を保全、管理、再生、公開し、あるべき姿を後世に残そうとするイギリスで生まれた市民運動。

別府八湯 別府温泉

山の手レトロ 散策マップ

一大自然景観と名建築めぐり

The map features several key locations and landmarks, each accompanied by a descriptive text box:

- 心斎橋** (Shin-saihashi): A historical site with a long history.
- 橋本屋** (Hashimotoya): A traditional building with historical significance.
- 別府市立会館** (Beppu City Municipal Hall): A modern building with a unique design.
- 別府市立歴史館** (Beppu City Municipal History Museum): A museum showcasing the city's history.
- 山の手レトロ** (Mountain Hand Retro): A collection of traditional buildings and streets.
- 別府温泉** (Beppu Onsen): A famous hot spring area.

The map also includes a legend and a scale bar at the bottom left.



『みうらばいえん』

国東支部 菊本 軍治

国東半島の中心に位置する所に、安岐町で生まれ生涯をすごした哲学者、三浦梅園という人物がいました。今回国東支部では三浦梅園という人物と梅園資料館の建物について紹介いたします。

まず三浦梅園という人物についてですが皆さんはご存知でしょうか？梅園は1723年安岐町富永に生まれました。今からちょうど280年前です。



少年のころから探求精神の旺盛であった梅園は医を家業としながら67年の生涯を双子山に抱かれて、天地と人間の条理の解明に人生を捧げました。偉大な哲学者に成長した梅園は天地を写しとろうとした『玄語』を完成させ、学問の分野は天文学から生物学、医学、政治経済学、政治道徳学、文学にまで及びました。また梅園は、世の中が金次第という殺風景になっていく風潮の中で人に譲る礼譲の感覚を人々の心の中に呼び覚まし、良民を救うための理論『価原』をのこしました。梅園の教えは時を超え今まさしく私たちの時代に求められている『倫理感』というものをその当時より悟っていたのではないかと思います。梅園は理知的な面ばかりでなく、人の不幸を座視できない熱い心の持ち主であったのではないかと思います。



安岐町の海岸線より安岐川にそって、両子寺に向かう途中左手に一際目立った杉の大木の森があります。



その真下に白い建物の資料館と隣接して三浦梅園の旧宅があります。資料館は平成12年に完成され梅園本人が書いた資料を展示する展示室、文化財として残された資料を保管する収蔵庫や、子供たちに梅園先生とはどんな人物なのかわかりやすく説明する天空シアター室などが完備された資料館です。又、終生この地をこよなく愛し離れることのなかった梅園の墓は、旧宅の南の丘にいまも佇んでいます。



インフォメーション

INFORMATION

臼杵支部



臼津関地区地域づくり 交流倶楽部研修会

臼杵支部 若林 純一

平成15年11月23日、標記研修会に臼杵のデザイン会議、建築士会臼杵支部、歴史景観を守る会、かたりべの会、東・西神野地域を活性化する会の方々総勢23名とともに参加しました。

【愛媛県長浜町】

長浜町は佐田岬の付け根の北側、瀬戸内海に面する人口9300人あまりの町です。1級河川肱川が流れ、その河口に現役としては我が国最古の道路可動橋（バスキュール式鉄鋼開閉橋）である長浜大橋（登録有形文化財）が架かっています。

昭和10年完成、長さは223m・幅員5.5m、開閉部分は延長18m重量が82トンあり、中央のカウンターウエイトの部分が特異な形状を示しており、分銅の役割を果たしています。下流側に新しい長浜大橋が完成していますが、今でも現役、町のシンボル・観光資源として日曜日の13:00に点検を兼ね開閉されています。

予定では、余裕を持って開閉を目の当たりにする予定でしたが、不案内から大型バスの屋根をさくらの木がこさいだり渋滞を引き起こしたりで、かろうじて金網越しに閉まる直前の可動橋見学となりました。



今回の参加を決めたのは長浜町で取り組まれている「まちなみ水族館」の響きに誘われたからです。皆さんはどのような「水族館」を想像されますか？

長浜大橋のたもとでまちなみ水族館代表の大野茂久さんと落ち合い、最初に訪問したのはお寺でした。庫裏の玄関に入るとそこには30はあろうかという水槽にメダカや金魚たちが飼育されています。「水族館の一つです・・・。」まちなみ水族館とは、魚の飼育を趣味にしている方々（家々）をネットワークし、公開をお願いし、まちづくりの核とする取り組みだったので。「皆さんが昼食されたドライブインも水族館の一つです・・・。」そういえば魚の泳いでいない水槽があったような。この「まちなみ水族館」の取り組みの深遠さ？がわかったような気がしました。



町では過去「まちづくり委員会」と称する各団体のトップからなる委員会で話し合いが行われていましたが3年ほどで解散、その後も話し合いの場が作られたにもかかわらず平成10年に再度解散。大野さんたちは過去、町営の水族館があり愛されていたことから水族館を再現したいと考え各家庭や事業所で飼育されていた魚（水槽）をネットワーク・公開しまちづくりの核に育てることを考え、30人ほどで「まちなみ水族館」を立ち上げたのです。

てっきり町を挙げた取り組みで、そこかしこに立派な水槽があり様々な魚を見ることができる、そんなイメージを持っていた私にとっては、散在する「水族館」を数力所訪ねるたびにこの取り組みの困難さ迂遠さに気の毒な思いさえしました。

海の魚や熱帯魚などの飼育は難しいそうで「水族館」が町中のそこかしこ増えるまでには大変な時間とパワーを必要とするな・・・と感じました。それでも

2004年に南予各地を舞台に開催される「えひめ町並み博2004」の町のイベントとして予算が付いたそうで、パンフレットや看板を整備したいとのことでした。最近4つの郵便局も「水族館」を開設、徐々にではありますが取り組みは広がってきています。

最後に訪れた長浜高校では、空き教室にたくさんの魚が所狭しと飼育されています。「長高水族館」は平成11年、熱心な教諭により誕生、自然科学部員たちの手によって成長、県の「特色ある学校づくり」の指定校となりました。元気の無い長浜町と高校を救うのは水族館しかないと考えての「水族館高校をつくろう」という取り組みです。水族館を運営する高校、展開される科学教育、水族館高校をコアとしたまちなみ水族館の成功、愛媛大学との共同研究、県立水族館の誘致へと夢は広がっています。

関係者の情熱に只々、敬服。

【愛媛県保内町】

保内町は、佐田岬の付け根に位置し、人口は4300人余り、明治時代には工業、海運業、紡績業などの商工業が発達、強い財力を背景に、県内初の「第29国立銀行」(現在の伊予銀行のルーツ)の設立、四国初の紡績工場の立地、四国で初めて電灯がとるなど古くから南予経済界をリードしてきた町です。

まちなかには明治時代の反映の面影を漂わせる町並みや建物が多く残されており、「ハイカラな町ほない」をキャッチフレーズに最近、観光ボランティアの会も結成されました。初々しいボランティアの方々の説明で町並み散策を行いました。国立銀行発祥の地、愛媛蚕種、旧白石和太郎洋館、二宮医院、東洋紡績川之石工場赤煉瓦倉庫跡、美名瀬橋などを訪れました。特に美名瀬橋から続く宮内川沿いに整備された「もっくんロード」(河川沿いの木製デッキ)からの眺めは宮内川青石護岸とあいまってレトロな雰囲気を感じさせていました。

海を挟んで四国の地でも「まちづくり」が息づいています。「まちづくり」は臼杵が先輩、でも今回はまちづくりにかける情熱を教えられた研修会でした。





「大分県指定有形文化財長福寺本堂 保存修理工事について」報告(2)

日田市教育庁文化課 吉田 博嗣

前号に引き続き長福寺本堂について報告いたします。今秋以降、本堂の変遷過程を知る上では不可欠な年代を特定する墨書の発見が相次いでいます。長福寺由緒書きによれば、本堂創建は寛文9年(1669)と伝えられ、建立後334年が経過していることになるが、今回の解体調査により、外陣中央間仕切り部分に存する葦束から「寛文八年六月豊後乃国日田郡友田村ノ住人 藤作之丞作之」の墨書が発見され、寺伝と創建時期がほぼ一致したことは大きな成果である。

【構造形式について】

本堂の現状は正面側三方に落縁を廻し擬宝珠高欄を設ける。外周の柱は角柱で柱上に絵様肘木を置く。正面は三間とし中央柱間上に大虹梁を架け太瓶束を置き、腰高障子を立てる。正面両側は雨戸溝に腰高障子のみを立て内法内は無目鴨居開放である。側面は一間毎に角柱が立ち腰高障子、外面に雨戸溝がつく。この建具周りの仕事については、正面地長押より墨書が発見され「明治17年11月戸廻り一切仕留中城町大工伊東良之助作之」とあり、明治17年の改修であることがわかった。正面入側一間は板敷広縁。外陣内は梁間方向を三分し二列各二本ずつ角柱が立ち、内陣より一間を除き飛貫、長押を通す。天井は広縁・外陣共に格天井で、矢来の間中央のみ折上げ格天井となるのが文化の改造で、格組や天井板は弘化4年(1847)の改造である。内外陣境は中央三間を余間より一段高く巻障子とするが、両余間も巻障子とし、中央間のみ長押を一段上げ上部に龍の彫欄間を嵌める。当初は余間とほぼ同じ内法高さとなり、余間の彫刻欄間と同様文化の改造である。内陣は後門形式にて、来迎柱上に禅宗様木鼻付二手先組物を置き、格天井を支える。内陣・余間境二間は開放。両脇に飛檐の間を付する。尚、内陣須弥壇より寛延3年(1750)寄進の墨書と、右余間彫刻欄間より元禄15年(1702)の墨書が確認されている。また屋根は、発見された墨書により弘化3年(1846)に改造されたもので、創建よりも屋根勾配がきつくなり棟高が高くなっている。

【平面及び内外観等の変遷過程について】

これまでの調査により6期に亘って平面・内外観が変化していったことが判っている。寛文9年に創建された後、元禄、享保、文化、弘化、明治、昭和へと変遷していった。真宗寺院の宗教的作法により、それぞれの時代で間取りを改善していったものと考えられる。元禄期に余間壇をつくり、享保期に仏間を三つ並び仏壇形式から後門形式に改変し、文化には矢来の間を位置付け、弘化に屋根を拡大している。明治期に広縁外に建具を設け、昭和に現状の形になった。

またこれらは、親鸞上人や蓮如上人の御遠忌など宗教的行事にあわせ、本堂に手を加えられたと考えられる。

寛文9年(1669)内陣仏間は三つ並び仏壇形式で後堂はない。余間は当初から外陣より一段上がり、余間壇はなかった。現状余間壇柁位置には、土壁があったことがわかり、中央には半柱が建ち大壁であった。その大壁には、蓮水の障壁画が張られていた。余間に隣接する鞘の間は内外陣境までを平面規模としていた。また外陣は独立柱にて三間に区分し、正面屋内一間を開放広縁として、三方に外縁を廻していた。また屋根は本瓦葺で向拝が設けられ、軒は一軒で出も少なく5尺程度であった。

元禄15年(1702)余間壇ができ上部に彫刻欄間がはいる。彫刻欄間には、元禄15年 施主 岩尾宗安の墨書がのこり、この頃に余間壇ができ蓮水の障壁画が継ぎ足され余間壇に張られたと推察される。

享保20年(1735)内陣仏間が、三つ並び仏壇形式から後門形式となり、後堂が付加され、鞘の間の平面規模拡大が行われた。開山厨子に残る墨書が享保20年であったことから、その頃に後門形式になったと思われる。また須弥壇には、寛延3年8月3日(1750)の墨書がのこっている。また祖師壇欄間には、施主 岩尾嘉左衛門(宝暦12年1763没)の墨書が残り、この頃に内陣を後門形式に改変した後整備していったものと推察される。外観は、創建当初とほぼ同じで、左鞘の間・後堂を下屋にて納め、右鞘の間を大屋根軒内に納める。

文化6年(1809)矢来の間的位置付けのために、内外陣境一間を折り上げ、右側鞘の間の拡張を行っている。このとき新調した巻障子に残る墨書に文化6年、欄間に文化7年12世法幢代と銘が残っている。しかし、天井はまだ棹縁であった。

弘化3～4年（1846・1847）向拝ができ屋根形式を改変している。向拝の斗組や打越垂木また側面縫破風、小屋梁、背面丸桁から墨書が発見され、弘化3年5月3日に上棟したことが判った。また、内陣外陣の格天井張替えを弘化4年に行ったことが、発見された墨書により判明した。弘化3年の屋根形式改変に伴い、正側面の木口縁に勾欄が廻され、正面に木階級が拡張された。また、右鞘の間の拡張を行い、側面石階級の取り付け変更を行った。

明治16・17年（1883・1884）正面通り外面に雨戸溝がつき、開放広縁であった外周りに腰高障子がつけられた。この建具廻りの仕事については、正面地長押より墨書が発見され（先述）明治17年の改修であることがわかった。また、向拝屋根瓦の留め蓋（シャチ）に明治16年の銘が刻まれていることから、この頃に小修理改修を行っていることがわかる。

昭和2年（1927）現状の平面となり、右側鞘の間拡張、内陣床板の改修、屋根改修などを行っている。妻破風銅板もこの時のものである。
（設計監理者 福島孝篤氏の作成資料より抜粋）

現時点で判明している内容について記してきたが、以上の結果を受けて、長福寺本堂保存修理工事専門委員会（委員長 関西大学永井規男教授）では、長福寺の宗教活動にも配慮することとしながら、享保期に復元修理する方針を固めた。今後は当初設計を見直し、設計変更の作業に入っているが、完成の時期は平成17年度の予定である。当堂は九州に現存する真宗寺院としては最も古く、全国的に見ても真宗寺院本堂として大変貴重なものである。真宗寺院として、完成されていく変遷過程がわかり、その時代の技法や絵様（斗組物・障壁画・瓦・彫刻類など）に特徴がよく残されているだけでなく、長福寺本堂は豆田の町並みを形成する極めて重要な要素であり、豆田の文化・思想に多大な貢献をしてきた歴史をもっている。

境内には、享保17年（1732）建立の常灯明堂、享保20年（1735）建立の経蔵、安永6年（1777）建立の鐘楼堂のほか、19世紀前期の山門などがあり、地方の確立されていく真宗寺院伽藍を知り得る貴重な寺院である。

最後に、紙面の都合により、図面を掲載することができなかったことをお詫びいたします。



絵番付（馬）



寛文桁斗組



富士緒井路・白水ダム

三重支部 阿南 英彦

棚田に囲まれた狭い農道を通り、鬱蒼とした林道をしばらく下っていくと、エメラルドグリーン湖面が眼下に広がる。“日本一”美しいと言われる白水ダムの湖面である。

さらに下り、湖面に近づくと、シャラシャラという、このダム独特の流水の音が聞こえてくる。

この音に誘われ、その傍らに立ち、目の当りにした光景は、堰堤を越えた水が石に当たって白いレースのような鱗模様を描いて落ちていく。

優美な白水の流れで、まさに“ため池の女王”の名にふさわしいものであった。

このダムは、優れた水利システムを持つといわれている富士緒井路という灌漑用水路の取水口である。



この井路が造られたのは明治から大正にかけてである。

昔、この地域の多くの水田は、山々に囲まれた高台にあり、耕作面積も少なかった。収穫量の8割を年貢で納めていた江戸後期には、農民は極度の困窮にあえていた。

この地域は、阿蘇山系から流れる川の水は潤沢だが、標高差のために直接田畑に水を引けなかった。上流に取水口を造り、そこから井路を経て水を引き、山肌に水田を開くことが、唯一の解決策であった。

明治の時代になり、後藤鹿太郎が发起人となり、地元の有志とともに、井路づくりのために奔走する。

大工であった鹿太郎は、水源を設定し、曲尺（差金）を使って測量したといわれる。

当時は、公共事業の観念がない時代で、地域住民が自前で井路をつくるには、幾多の困難が伴った。

富士緒井路土地改良区という水利組合をつくり、工事を負担する組合員（農民）を説得し、代議士の応援を仰ぎ、銀行とは資金の交渉もした。

豪農は私財をなげうち、貧しい農民は借金返済のめどが立たず、土地を手放す者も出た。このような逆境を乗り越え、ようやく大正3年6月に通水するに至る。



また、ダムについても、美しさばかりに目を奪われがちだが、この美しさも地盤の弱さを補うために、構造的な論理に基づいて設計されたものである。

まず、堰堤に使用する切石の表面は目の粗いものとし、あふれ出る水が水泡状になることによって勢いが軽減されることを考慮し、水を受け流すように壁面をなめらかな曲線で仕上げ、左岸には階段状、右岸には曲面状の擁壁を築いて、水圧を低減させた。

注目すべきは、高価なコンクリートの使用を最小限にとどめるために、堰堤内部に切石が敷き詰められているにもかかわらず、たいした補強工事の必要もないまま築後70年を経ていることである。

尚、材料の石は地元で採れる阿蘇溶結凝灰岩で、周囲の景観とも無理なくマッチしている。





第46回建築士会全国大会 宮崎大会に参加して

竹田支部 今川 幸一



竹田支部では恒例となった研修旅行を兼ねて今回全国大会に会員20名が参加しました。

大会会場はワールドコンベンションセンター（旧名シーガイア）で開催され、今回の大会ではイベントで屋台村が開催され、NPO法人竹田まちなみ会として出展依頼が県本部よりあり、ブースを出すこととなりました。（県内では2ブースの出展）屋台村には全国より50あまりの出展があり大変にぎやかな催しとなりました。スペースの関係もあり、まちなみ会の活動を全て展示できなかったのは残念ですが、意義ある催しではなかったかと思われます。各ブースでは大きく分けてまちづくりや活動報告、教育、情報、企業等のパネル展やビデオ放映等が行われました。



町づくりに関心のある会員は熱心に色々質問してきますが、ブースの数の多さもあってかCPDの点数のために印鑑だけをもって素通りする会員が多かったようです。それでも竹田市の観光課から預かった観光パンフレットは全て無くなり少なからず竹田に興味があるか、以前竹田に来た事のある会員が多かった

ようです。最後に会員による投票があり賞がもらえる聞き頑張ってはみたんですが、惜しくも屋台村での賞は頂けませんでした。この賞は会員による投票による為、展示の内容よりも一際注目を引くブースに人気が集まったきらいがあったように思われました。NPO竹田法人まちなみ会としては精一杯やったと思います。このように全国の会員のさまざまな活動状況が見られ、発表出来る機会を今後ともつくって欲しいものです。

前日より出展準備とブースでの受付に奮闘してくれた山浦氏と工藤氏には大変ご苦勞を掛け感謝しております。お疲れ様でした。夜はホテルで温泉に入り、宴会で英気を養い大いに盛り上がったところです。飛び入りで玖珠支部の来訪もあり、楽しい夜となりました。



翌日は待ちに待った研修日となり、天候にも恵まれ皆早くに起床したようでした。宮崎県は隣県でありながらなかなか訪れる機会が無く、楽しみにしていました。研修先は綾町の綾城、照葉の大吊橋等の見学と日向市の美々津の町並みの見学をしました。時間の都合で計画していた全ての研修先に行けなかったのは少し残念でしたが、有意義な研修となりました。会員の皆さんお疲れ様でした。来年もまた、ぜひ研修旅行に行きたいものです。



インフォメーション

INFORMATION

宇佐支部

宇佐支部 加嶋 洋喜

建築士会宇佐支部青年部は、地域実践活動の一環として、小中学校に於ける「総合学習」にて宇佐市立高家小学校4年生12人を対象として、11月21日（金）に当学校教室にて、折り紙建築教室を開催致しました。当日の内容につきましては、渡辺青年部長より、私達建築士の仕事内容や、住まいについてのお話の後に折

り紙建築の説明を行い、第一作目の共通課題「対馬の石屋根」に12人全員が同時に取り組みました。まず始めにカッティング作業です。子供達は、カッターを使い紙の実線に切れ目を入れていきます。次にカッティング終了後、印にそって折っていくという作業です。子供達は、始めた頃は、カッティングが難しい様でしたが、次第にコツを掴んで、作品作りに集中していました。次に第二作目は、5作品の中から好きな物を選択し、製作しました。子供達も二作目は手際よく製作に取り組みでいました。

終わった後の子供達の生き生きした表情を見て、未来を担う子供達の成長の一環に強力出来たことを嬉しく思います。





情報コーナー

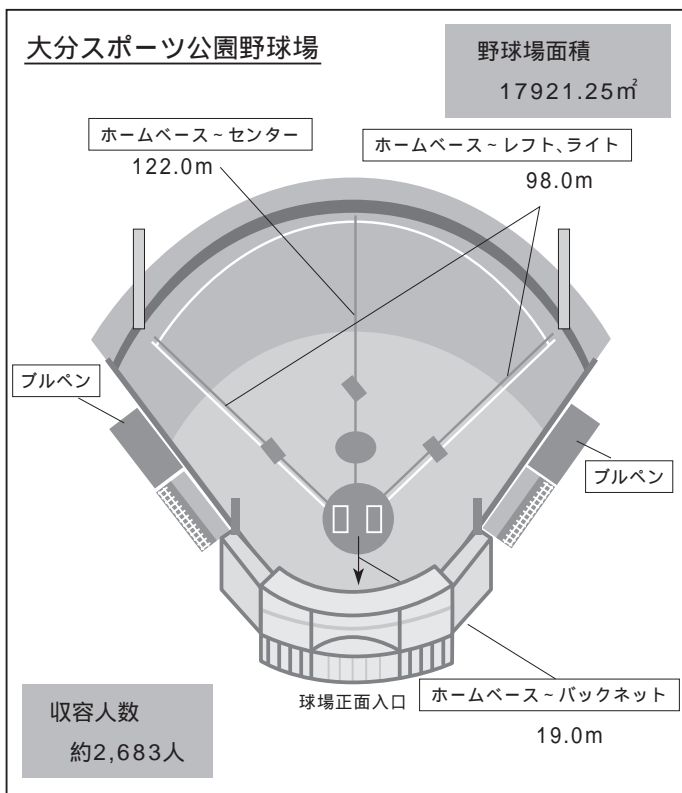
知っちゃんかえ?

大分スポーツ公園に硬式球場の広さをもった軟式共用の野球場『大分スポーツ公園野球場』が2004年4月にオープンします。

設計：大分土木事務所
スポーツ公園建設部
+
九州建設コンサルタント(株)
施工：クボタ不動産建設(株)
(株)安部電業社
西産工業(株)
梅林建設(株)
(株)センコー企画
その他



大分スポーツ公園野球場



(財)大分スポパーク21より

今年4月上旬供用開始を予定していますが、今後の利用申込み等の手続きにつきましては正式決定次第公表させていただきます。

〒870-0126 大分市大字横尾1351番地 (財)大分スポパーク21
Tel 097-528-7700
FAX 097-528-7711
HP <http://www.bigeye.jp/index2.htm>

建築士会継続能力開発（CPD）認定プログラム

| | | | |
|------------------------------------|---|-------------------------|----------|
| 2003年 9月号 | 会誌「建築士」連載講座/「シックハウス対策と快適な住空間(6)」 | 日本建築士会連合会 | 1回あたり1単位 |
| 2003年10月号 | 会誌「建築士」連載講座/「木造住宅と環境対策(1)」 | 日本建築士会連合会 | 1回あたり1単位 |
| 2003年11月号 | 会誌「建築士」連載講座/「木造住宅と環境対策(2)」 | 日本建築士会連合会 | 1回あたり1単位 |
| 2003年12月号 | 会誌「建築士」連載講座/「木造住宅と環境対策(3)」 | 日本建築士会連合会 | 1回あたり1単位 |
| 2004年 1月号 | 会誌「建築士」連載講座/「木造住宅と環境対策(4)」 | 日本建築士会連合会 | 1回あたり1単位 |
| 2004年 2月号 | 会誌「建築士」連載講座/「木造住宅と環境対策(5)」 | 日本建築士会連合会 | 1回あたり1単位 |
| 2004年 3月号 | 会誌「建築士」連載講座/「木造住宅と環境対策(6)」 | 日本建築士会連合会 | 1回あたり1単位 |
| 2004年 1月号 | 建築知識 消防法講座「建り法、ハートビル法、省エネ法等 新法から最新改正まで8大法規*ピンポイント解説」 | エクスナレッジ 03-3403-1381 | 4 |
| 2003年4月14～ 9月1号 | 日経アーキテクチャ講座/日経アーキテクチャ講座 「木工造のスキルアップ術」(全9回) | 日経BP社 03-5210-8121 | 4 |
| 2003年4月28～ 2004年3月1号 | 日経アーキテクチャ講座/日経アーキテクチャ講座 「快適空間を支える設備トレンド ～空調&エネルギー編」(全12回) | 日経BP社 03-5210-8121 | 4 |
| 2003年5月26～ 9月29号 | 日経アーキテクチャ 講座/はじめての大規模修繕 マンション (全10回) | 日経BP社 03-5210-8121 | 4 |
| 2003年4号 | 建築技術 講座/建築技術別冊VOL.9 「コンクリートのひび割れ 原因と防止対策」 | 建築技術 03-3222-5955 | 4 |
| 2003年8月号別冊 | 建築技術 講座/コンクリートの上手な打ち込み | 建築技術 03-3222-5955 | 4 |
| 2003年4～7月号 | 日経ホームビルダー 講座/住宅技術Q&A(全4回) | 日経BP社 03-5210-8720 | 1 |
| 2003年9～11月号 | 日経ホームビルダー 講座/住宅技術Q&A(全4回) | 日経BP社 03-5210-8720 | 1 |
| 2003年4月号以降2回 | 日経ホームビルダー 講座/技術基準の要点 | 日経BP社 03-5210-8720 | 1 |
| 2003年7～9月号 | 日経ホームビルダー 講座/シックハウス規制講座(全3回) | 日経BP社 03-5210-8720 | 2 |
| 2003年8月4日号～ 2004年2月23日号 | 日経アーキテクチャ 講座/密着ルポ シックハウス対策(全8回) | 日経BP社 03-5210-8720 | 4 |
| 2003年7月21日号～ 10月13日号 | 日経アーキテクチャ 講座/ひび割れのこない コンクリートのつくり方続編(全4回) | 日経BP社 03-5210-8720 | 2 |
| 2003年10月27日号～ 3月8日号 | 日経ホームビルダー 講座/リフォーム顧客対応講座 | 日経BP社 03-5210-8720 | 1 |
| 2003年9月号以降 | 日経アーキテクチャ講座「音のトラブル相談室」(全9回) | 日経BP社 03-5210-8121 | 4 |
| 2003年11月号 (10月22日発行)以降 (全3回) | 日経ホームビルダー講座「シックハウス対策講座」(全3回) | 日経BP社 03-5210-8720 | 2 |
| 2003年8月号～ 2004年5月号 | 新建築 講座/集合住宅をユニットから考える | 新建築社 03-3811-7101 | 4 |
| 2003年9月～3月号 ～2004年5月号 | 新建築 講座/訪ねて歩く材料と工法 | 新建築社 03-3811-7101 | 1 |
| 2004年2月号～ 2005年12月号 | 新建築住宅特集「名住宅再訪(仮)」(全12回) | 新建築社 03-3811-7101 | 5 |
| 2004年1月号～ 2005年11月号 | 新建築住宅特集「日本の木造住宅を考える(仮)」(全12回) | 新建築社 03-3811-7101 | 5 |
| 2003年9月号～ 2004年2月号 | 建築知識 講座/材料・工法取材ノート(全6回) | エクスナレッジ 03-3403-1381 | 2 |
| 2003年10月号～ 12月号 | 建築知識 講座/窓設計マニュアル(全3回) | エクスナレッジ 03-3403-1381 | 3 |
| 2004年1月26日 | 告示1464号「突合せ継手の食い違い、 仕口のずれ検査・補強マニュアル」 | (財)大分県建築住宅センター | 3 |
| 2004年2月16日 | 建築士のための指定講習会 | 大分県建築士会 | 12 |



事務局だより

【行事報告】

サマーセミナーin中津

日時 平成15年9月13日

場所 中津市

参加 127名

「木と暮らしのフェア2003」への参加

日時 平成15年11月2日～3日

場所 大分市 ビッグアイ

「環境と住まいフェスタinおおいた2003」への参加

日時 平成15年10月24日～25日

場所 大分市 ビッグアイ

第46回建築士会全国大会（宮崎大会）

日時 平成15年10月24日～25日

場所 宮崎市

参加 227名

【会議報告】

編集作業

日時 平成15年8月7日

場所 建築士会 事務局

出席 3名

概要 「建築士大分」 88の編集作業について

第2回CPD・HP合同会議

日時 平成15年8月11日

場所 建築士会 事務局

出席 6名

概要 ホームページ立ち上げに伴う勉強会について
CPD制度の運用について

編集作業

日時 平成15年8月21日

場所 建築士会 事務局

出席 3名

概要 「建築士大分」 88の編集作業について

編集作業

日時 平成15年8月27日

場所 建築士会 事務局

出席 1名

概要 「建築士大分」 88の編集作業について

まちづくり推進協議会

日時 平成15年8月28日

場所 建築士会 事務局

出席 8名

概要 まちづくり活動助成について

第3回CPD特別委員会

日時 平成15年9月2日

場所 建築士会 事務局

出席 7名

概要 専攻建築士別審査基準に要項（案）について
の意見交換会

建築士会 支部職員研修会

日時 平成15年9月19日

場所 別府ビーコンプラザ

出席 18名

概要 建築士会継続能力開発（CPD）制度の
概略について
建築士会継続能力開発（CPD）制度の
事務取扱いについて
意見交換会

支部事務局職員・青年部ワーキンググループ合同協議会

日時 平成15年9月19日

場所 別府ビーコンプラザ

出席 36名

概要 支部ホームページ立ち上げの推進状況報告
県士会ホームページの紹介
Eメールの取り扱い説明
ホームページの作成講座

三役会議

日時 平成15年10月17日

場所 建築士会 事務局

出席 7名

概要 支部長・理事合同協議会の議題について
全国大会(宮崎大会)岩手士会との交流会
等について

編集会議

日時 平成15年11月6日

場所 コンパルホール

出席 14名

概要 「建築士大分」 89の編集方針について

支部長・理事合同協議会

日時 平成15年11月21日

場所 別府亀の井ホテル

出席 32名

概要 各委員会報告
青年部活動状況について
女性部活動状況について

編集作業

日時 平成15年11月28日

場所 建築士会 事務局

出席 5名

概要 「建築士大分」 89編集作業について

【建築士会連合会関係】

第2回専攻建築士制度推進特別委員会

日時 平成15年8月21日

場所 東京都

出席 岩瀬会長

概要 各建築士会のCPD登録進捗状況
専攻建築士制度要綱（案）等について

第1回制度委員会
日時 平成15年9月11日
場所 東京都
出席 今永 和浩 氏
概要 CPD専攻建築士制度の進捗状況報告
まちづくり条例等研究の目的と進め方

第3回専攻建築士制度推進特別委員会
日時 平成15年10月3日
場所 東京都
出席 岩瀬会長
概要 連合会よりの連絡事項
専攻建築士制度運営について

【九州ブロック会関係】

青年建築士協議会
日時 平成15年9月6日
場所 熊本市
出席 渡辺青年部会長・足立副部会長
概要 建築士の集い佐賀大会報告
全国大会九州ブロック発表について 他

会長会議
日時 平成15年11月15日
場所 長崎市
出席 岩瀬会長
概要 連合会よりの連絡事項
各建築士会提出議題について

【建築士試験業務関係】

二級建築士「設計製図」試験
日時 平成15年9月28日
場所 日本文理大学
出席 監理員11名、補助員6名
概要 受験者 184名

一級・木造建築士「設計製図」試験
日時 平成15年10月12日
場所 日本文理大学
出席 監理員7名、補助員2名
概要 受験者 65名

建築士試験業務反省会
日時 平成15年11月5日
場所 大分市
出席 19名
概要 平成15年度建築士試験実施結果報告
試験実施に係る問題点と反省について

【その他会議関係】

木と暮らしのフェア実行委員会
日時 平成15年8月19日
場所 県庁舎
出席 芳山副会長
概要 「木と暮らしのフェア2003」
実施計画(案)について

第3回 ぶんご建築連絡協議会
日時 平成15年8月19日
場所 (財)大分県建築住宅センター
出席 岩瀬会長・御手洗事務局長
概要 「環境と住まいフェスタinおおいた2003」
について

第2回「環境と住まいフェスタinおおいた2003」
実行委員会

日時 平成15年8月19日
場所 大分県木材協同組合連合会
出席 岩瀬会長・御手洗事務局長
概要 経過報告について
出展申込状況について
イベント計画について

第3回「環境と住まいフェスタinおおいた2003」
実行委員会

日時 平成15年9月16日
場所 大分県木材協同組合連合会
出席 岩瀬会長・御手洗事務局長・井上道博氏
概要 最終出展状況について
運営計画について
動員計画について

第4回「環境と住まいフェスタinおおいた2003」
実行委員会

日時 平成15年10月2日
場所 大分県木材協同組合連合会
出席 岩瀬会長・御手洗事務局長
概要 経過報告について 予算について
広報画について 運営について

おおいた・福祉のまちづくり賞審査委員会

日時 平成15年11月10日
場所 総合庁舎
出席 芳山副会長
概要 第1次審査(書面審査)について
今後のスケジュールについて

大分県産材流通情報センター第2回検討会

日時 平成15年11月25日
場所 林業会館
出席 芳山副会長
概要 大分県産材流通情報センター構想について
意見交換会

おおいた・福祉のまちづくり賞審査委員会 現地調査

日時 平成15年11月26日
場所 総合庁舎
出席 芳山副会長
概要 書面審査にて選定された上位6施設現地調査

木と暮らしのフェア幹事会

日時 平成15年11月26日
場所 県庁舎
出席 首藤常務理事
概要 「木と暮らしのフェア2003」
開催実績について

おおいた・福祉のまちづくり賞審査委員会

第2回審査委員会
日時 平成15年12月1日
場所 総合庁舎
出席 芳山副会長
概要 各部門受賞者選考

新 会 員 紹 介

(H.15年8月入会から12月入会)

| 支部 | 氏 名 | 生年 | 級別 | 登録番号 | 〒 | 住 所 | 電 話 | 勤務先(会) |
|----|--------|------|----|--------------|----------|------------------------------|-----------------|------------------------------|
| 高田 | 佐々木真江 | S 50 | 1 | 309273 | 879-0467 | 宇佐市大字山本1028-1 | (0978) 32-6232 | 佐々木建設(株) (0978) 24-1115 |
| " | 三 明 保則 | S 53 | 1 | 309274 | 879-0603 | 豊後高田市大字鼎1555 | (0978) 22-1527 | (有)三明工務店 (0978) 22-1527 |
| 別府 | 杉田 公博 | S 41 | 1 | 249189 | 874-0844 | 別府市火売町6-3 | (0977) 67-2569 | (有)端木産業 (0977) 23-8121 |
| 大分 | 諸富 富男 | S 25 | 1 | 129930 | 870-0021 | 大分市府内町1-5-10-602 | (097) 532-5741 | (有)諸富設計 (097) 533-7005 |
| " | 井上 信也 | S 48 | 1 | 309287 | 870-0934 | 大分市東津留2-10-34 | (097) 558-3627 | (有)井上設計 (097) 558-5885 |
| " | 江藤 秀徳 | S 49 | 1 | 294027 | 879-0617 | 豊後高田市大字高田1076-7 西日本コーポ201 | (0978) 22-2380 | 西日本土木(株) (0978) 22-1131 |
| " | 山 鮎美 | S 57 | 準 | —— | 870-0106 | 大分市大字鶴崎2360-1 | (080) 5200-4280 | |
| " | 江藤 文生 | S 35 | 1 | 224080 | 870-0318 | 大分市大字丹生617 | (097) 593-0021 | (株)藤設計 (097) 558-1814 |
| 佐伯 | 平井 敏恵 | S 44 | 1 | 300141 | 876-0813 | 佐伯市長島町1-34-20 | (0972) 23-7128 | 平井一級建築士事務所 (0972) 23-7128 |
| 日田 | 後藤 ふみ | S 55 | 2 | 6975 | 877-0037 | 日田市若宮町3-52 | (0973) 22-2976 | (有)宇野建築事務所 (0973) 24-3181 |
| " | 羽野 福美 | S 45 | 1 | 309277 | 877-0081 | 日田市清岸寺町225-1 | (0973) 23-0273 | HANO設計事務所 (0973) 23-0273 |
| " | 佐藤 洋一 | S 51 | 2 | 福岡県 25502 | 877-0012 | 日田市淡窓2-4-9 | (0973) 23-9146 | |
| " | 菅 規男 | S 26 | 1 | 133829 | 861-1331 | 熊本県菊池市隅府1419-6 | (0968) 25-3758 | (株)トライ・ウッド (0973) 55-2656 |
| " | 諫山 智彦 | S 43 | 2 | 6047 | 877-1352 | 日田市石松町1170 | (0973) 22-7454 | Tomos設計工房 (0973) 22-7454 |
| 中津 | 瀧 満 | S 33 | 準 | —— | 871-0027 | 中津市上宮永168-11 | (0979) 24-7882 | (株)瀧工務店 (0979) 22-1674 |
| " | 松下 明美 | S 34 | 2 | 6346 | 871-0102 | 下毛郡三光村大字成恒293-1 | (0979) 43-6065 | (株)アスク設計 (0979) 22-5554 |

事 務 局 員 の 移 動

～お世話になりました～

建築士会会員の皆様、今まで大変お世話になりました。

建築士会事務局職員として8年近く務めさせて頂きましたが、この度結婚をし、退職することになりました。

これからは主婦業に専念します！

皆様、今まで本当にありがとうございました。

どうぞこれからも建築士会を宜しくお願いいたします。

矢野 涼子(旧姓：手島)



矢野さん

岡部さん

～よろしくお祈いします～

今度、事務局に採用された岡部弥生です。10月末から入って、少しずつ仕事に慣れてきました。事務局や役員の方や会員さんもやさしいばかりで、仕事がとても楽しいです。

これから一生懸命がんばりますので、よろしくお祈いします。

生年月日：昭和58年3月14日

趣 味：音楽鑑賞・温泉

お詫びと訂正

当会発行の『'03会員名簿』において下記の誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

41ページ

| | | | | | | | | | |
|---|-------|---|--------|-----|----------|-----------------------------|----------------|------------------|----------------|
| 誤 | 中武 啓至 | 1 | 218490 | 昭37 | 870-1124 | 大分市大字旦野原700 大分大学構内宿舍2-22 | (097) 568-4623 | 榊齋藤武男 建築設計事務所 | (097) 554-7923 |
| | 中野 満 | 1 | 181336 | 昭22 | 870-1139 | 大分市寒田南町4-2-9 | (097) 568-1015 | 大分大学工学部 建設工学科 | (097) 536-3932 |
| 正 | 中武 啓至 | 1 | 218490 | 昭37 | 870-1124 | 大分市大字旦野原700 大分大学構内宿舍2-22 | (097) 568-4623 | 大分大学工学部 建設工学科 | (097) 554-7923 |
| | 中野 満 | 1 | 181336 | 昭22 | 870-1139 | 大分市寒田南町4-2-9 | (097) 568-1015 | 榊齋藤武男 建築設計事務所 | (097) 536-3932 |

～平成15年 1級建築士・2級建築士試験合格おめでとうございます。～

1級
合格者
21名

針原 秀明 阿部 隆二 佐藤 誠 林 貴義 門脇 秀享 松田 忠広 吉田 有司
 桑原美也子 千原 仁 梅木 恵美 平野 浩司 安東 洋一 合澤 憲陵 新貝 学
 三ッ股嗣朗 江淵 正一 佐藤 洋一 圭介 前村泰四郎 板井 祐輔 大津留祐子

2級
合格者
119名

中村 淳 宮成 孝治 森 克美 浜田 教彰 久本 希望 田中 敦士 梅木久海子
 今富 正幸 荒木 智弘 七蔵司順也 廣瀬 聡 添田 祐佳 中 千鶴 中嶋 智之
 高崎 真治 橋 幸代 二宮 和敏 深見 暢祐 岡 浩子 末弘 真治 鶴田 康徳
 松本 幸子 森 容一 田口 浩也 豊東 剛 安東 誠 古澤 誠司 山 義輝
 須藤 祐未 幸長 正洋 阿南 裕美 足立 浩治 永塚 啓児 木村 孝人 吉長 康彦 芦田 五月
 松永 俊 諫山 芳幸 山口 太一 後藤 忠治 安部 博美 児玉 真人 小野 和彦 是本 昭善
 大林 豊文 高松 隆太 平川 雄二 染矢 智彦 杉江 壮元 寺 文美 山本 祐己 河野 文尚
 新田 祐史 小川 佳子 八坂章二郎 黒田真理子 上野 隆信 川野 智朗 金丸 歩実 上杉 真幸
 穴井 義之 濱田 利秀 岩本 智彦 荒金 久雄 財津 憂樹 泥谷 和俊 田内 将樹 小玉 欣生
 安田 智恵 田中 大輔 森尾 英樹 田中 基嗣 本間 絵美 鳥越 俊秀 過能 正俊 齊藤 秀美
 飯田 友和 那賀 幹子 河野 康仁 石井 秀樹 幸 沙織 武本真理子 佐々木隆一 佐薙 勝
 山之内卓也 久保田耕一 瀬 一郎 野々下 寛 渡部 容子 矢野 友和 秋吉 謙二
 平野 崇 李 東 曾根崎文子 大窪 聖明 南 里沙 江藤 健太 佐藤 宏和
 日置 裕美 岐津 良信 羽田野光則 西尾 三成 園田 啓二 井下 妙子 尾藤 育映
 河津 俊 藤本 裕也 富松 誠 鬼武 雅之 平川まゆみ 谷原 総 長岡 德行
 矢野 一輝 平井 厚宣 野村香奈恵 吉良 彩香 大村 武司 都 隆也 白石 博文

編集委員会では
みなさんの投稿を待っています。

絵・スケッチ・CG・詩・短歌・俳句・随想なんでも結構です。あなたの知られざる才や技を御披露いただきたいのです。

各支部の編集委員までおとどけください。本部に直接送ってくださってもかまいません。よろしくお願い致します。